

大谷小中学校だより

NO.4
令和6年 7月29日
珠洲市立大谷小中学校

学びを深めるために ~オンラインでの授業を通して~

校長 鎌田 香

オンライン授業を導入することで、遠方の学校と一緒に授業を行なうことができます。7月は6年生が正院小学校と短歌の交流を、そして正院小学校と蛸島小学校の3校でブックトークの授業をオンラインで行いました。また、8年生は三崎中学校の2年生と道徳の授業を行いました。児童生徒全員がタブレット端末を使い、インターネットの接続が整備され、大型モニターが教室にある環境だからこそできることです。市内の小学校・中学校ともに少人数である学校が多いため、さまざまな考えの意見に触れることで、考えを広げたり、深めたりするための工夫をしています。オンラインの授業はその工夫の一つです。6年生からは「はじめは恥ずかしかったですが、最後にダジャレを言い合っただけ楽しかったです。次のオンラインはいつですか?楽しみです。」「他の学校の人と細かなやり取りができて、よかったです。」という感想が聞かれました。また、8年生からは「少し緊張したけど、お互い人数が少なかったのが、意外とすぐ慣れた。そして、三崎の子は問われたことに対してたくさん意見をすぐに思い浮かべているのがすごいなと思った。発想力豊かだなと思った。」また、三崎中の生徒からは「今までにない意見を聞くことができたので良かったです。いろんな意見を聞いたことで考えを深めることができました。」という感想が聞かれました。学び合うことのよさを感じます。また、相手意識を持って自分の考えを述べたり、考えを聞いたことで、本校の研究テーマである「自分の考えを他者に向けて、わかりやすい表現で伝えることができる児童生徒」の実現に迫ることができました。



今後は、7年生・9年生もオンライン授業を実施したいと考えています。また、他の教科でも実施したいと考えています。少人数で授業をすることは、マイナス面ばかりではなく、「児童生徒一人一人にとって最適な学びができる」「児童生徒一人一人のつまづきを見取り、きめ細かな支援ができる」といったプラスの面もあります。2学期はさらに、少人数のよさを生かし、マイナス面を補う工夫をしながら一人一人の学力をのばしていきます。

さて、7月22日(月)におらっちゃんの里山里海の方々で大谷の海岸清掃を行いました。1月1日の地震のため、海岸が隆起しており、例年よりも清掃する場所も広く、漂着したゴミも多かったです。短時間に少人数でゴミを取り除くことは難しいことなのですが、この活動を通して「たくさんゴミが拾えて達成感がありました。この活動で地域が元気になればいいなと願っています。」という晃史さんの振り返りがありました。これまでの活動を踏まえ、自分たちの活動で地域の方々を元気にしたいという思いは続いていることはとても素敵です。きれいな海岸は自分たちをそして地域の方々を笑顔にするはず。今後も地域を元気にする取り組みを続けていきます。



■ いよいよ田んぼに案山子出現! 6月25日(火)

みんなで作成した案山子を農家さんに手渡しました。「すでに鳥や獣が出てきているので、助かります。」と早速、田んぼに設置していただきました。この案山子が田んぼの稲を守ってくれますように!そして、大谷を少しでも元気にしてくれますように!雨や風で倒れてしまったときもありましたが、そのたびに地元の方にお世話いただいています。ありがとうございます。『地域を元気にするプロジェクト第2弾』も大成功です。この後もまだまだ私たちのプロジェクト&チャレンジは続きます!



■ ファシリテーション力を向上させよう! 6月25日(火)

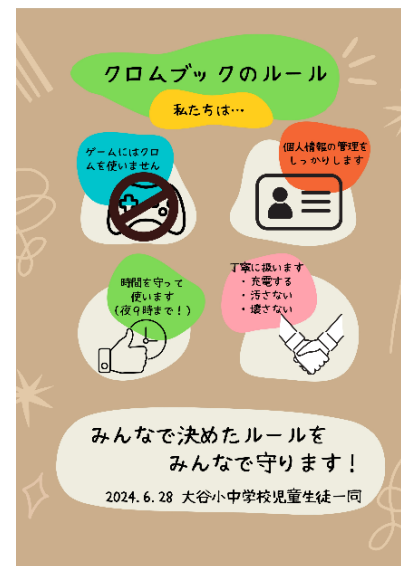
ホワイトボードミーティング®の方を講師にお招きし、ホワイトボードを使って話し合いを活発にする方法について学びました。初めての方法でしたが、生徒のみんなは積極的に話し合いをし、大変実りある研修となりました。「これからは、ホワイトボードを活用し、作戦を話し合ったり、意見をまとめたりしたいと思います。」「みんなの意見を『見える化』するとわかりやすかったの、これから使っていこうと思いました。相づちをするのも大切だと思いました。」「ホワイトボードに書きながら話すことで、話したことを見直すことができ、わかりやすかったです。」という振り返りがありました。



■ 自分たちでタブレットの使用ルールを決めよう 6月28日(金)

学習用タブレット端末をより効果的に学習に活用するために、自分たちで話し合っただけのルールを決めました。先日のファシリテーション力向上研修で教えていただいたことを活用し、ホワイトボードを使ってルールを考えました。自分たちで作ったルールは校長先生に説明し、承認してもらいました。右のようなポスターを作って、教室に掲示して意識を高めています。

- ◆◆◆ みんなで作ったルールをみんなで守ります ◆◆◆
- ・ゲームにはクロムブックは使いません。
- ・個人情報の管理をしっかりとします。
- ・時間を守って使います。
- ・丁寧に使います。(充電する、汚さない、壊さない)



■ 調理実習 7月3日(水)

6年生が調理実習を行いました。作ったのは、野菜炒めとスクランブルエッグです。材料の切り方や炒める時の火加減、加熱時間などを工夫して調理をしました。

「キャベツのシャキシャキ感とピーマンのへによへによ感とたまねぎのその中間の感じが合わさって、とてもおいしかったです。」という振り返りがありました。



■ セタ飾り 7月5日(金)

今年の七夕(7月7日)は日曜日なので、今日児童生徒のみんなと一緒に七夕飾りをつくりました。笹の葉が用意できなかったの、工夫して短冊が飾れるようにしました。児童生徒はもちろん先生方全員が、思い思いの願い事を書いて飾りました。読んでみるとほっとするようなものが多いです。みんなの願いが叶うとよいですね。



■ 珠洲市の復興について考えました。7月8日(月)

珠洲市の未来を考えるワークショップを行いました。珠洲市の復興計画を策定するにあたり、珠洲市の将来を担う子供たちがまちづくりについて考える機会とすることを目的に行われました。



ワークショップでは2つの問い「珠洲市に住み続けたいか」と「人が住みたくなるためには、どのような珠洲市だったらいいだろうか」について考えを持ち、話し合いをしました。「災害の対策をしっかりし、安心なまちづくりをする」「伝統行事、祭りや塩づくりを続け、人が来なくなるまちづくりをする」などさまざまな意見が出されました。



■ ライアーの鑑賞 7月9日(火)



「ライアー」という竖琴をつかった演奏をしてくださる、リラバンディアというグループの方が金沢より来てくださいました。「パッヘルベルのカノン」などなじみのある曲やイメージしたものを即興で演奏するクイズなどさまざまな曲を演奏してくださいました。クイズでは、同じ曲を聴いてもイメージするものが違って面白かったですし、大谷小中の児童生徒も先生方もみんな想像力が豊かだなということがわかりました。みんなで「小さな世界」を歌ったことも楽しかったです。演奏後にライアーを触らせてもらいました。楽しい時間をありがとうございました。



■ シェイクアウトいしかわに参加 7月9日(火)



地震が発生したあとに理科室で火災が発生する想定で避難訓練を行いました。午前11時に県下一斉に行われた地震発生時のシェイクアウト訓練では、みんな頭を守り、しゃがむ、かくれる、じっとするという安全行動を行うことができました。また、火災の避難訓練では「おはしも」を守り、素早く体育館に避難することができました。



消防署の方からは、児童生徒のみなさんが大変スムーズ行動できたことや先生方の動きにもコメントをいただきました。また、1月1日の能登半島地震での経験をこれからの自分たちに生かしていくことについても話していただきました。その後、消火器の使い方を学び、実際に訓練を行いました。常にいざという時に備えたいです。

■ 心のサポート授業 7月10日(水)

スクールカウンセラーの方々に来ていただき、心のサポート授業を行いました。今回は、これまでの「ストレスマネジメント授業」の復習をし、「こころと体の健康チェックシート」を行いました。そのあと、自分の良いところについての授業を行いました。「ジョハリの窓」というワークシートを使い、自分が知っている自分の良いところについて書き込み、次に、自分が知っている友達の良いところについて付箋に書き、それを友達に渡しました。最後に付箋やワークシートに書き込んだことを参考に「これからやってみようこと」や「ちょっと進んでみたい方向など」を書きました。友達や先生からもらった良いところを書いた付箋がいっぱいになったプリントを見て「このプリントを宝物にします」という児童生徒もいました。



■ いつも美味しい給食ありがとうございます! 7月12日(金)

飯田小学校共同調理場の栄養教諭の先生と一緒に給食をいただきました。なかなかない機会なので、毎日美味しく栄養満点の給食を作ってくださいみなさんに感謝の気持ちを寄せ書きした感謝状を渡しました。「毎日、たくさんの人数の給食を作ってくださいありがとうございます。」という感謝の言葉とともに渡すことができました。



■ ミニコンサート 7月18日(木)



昼休みに三崎中学校から週1日後期課程の音楽の授業に来られている下道先生と前期課程の大澤先生によるミニコンサートが行われました。ピアノとリコーダーのアンサンブル曲やピアノとトライアングルのアンサンブル曲を演奏してくださいました。ピタゴラスイッチの曲や新時代、ドラえもん、人生のメリーゴーランドなどなじみのある曲を演奏され、児童生徒の皆さんはその音色に聞き入っていました。「人生のメリーゴーランドが好きです。演奏がすごかったです。」「ミスが少なく演奏の完成度が高かったので、すごいなと思いました。」という感想が聞かれました。次回も楽しみにしたいですね。

■ メディアとの付き合い方を考えよう

終業式の日、この夏のメディアとの付き合い方についての指導がありました。特に、「メディアが“目”に与える影響」について勉強しました。

- ①大谷小中の児童生徒の現状について
 - ・メディア平均使用時間が平日約2時間、休日約4時間30分(5月の「げんきもりもりチェック」)
 - ・メディアの不適切な使用は目、姿勢、脳に影響を与え、肩こり・首痛、腰痛にもつながる。
 - ・去年から視力が落ちている生徒がいる。
- ②目の働きについて
 - ・長時間、スマホやゲームの画面を近くで見続けると、毛様体筋が緊張した状態が続き、凝り固まって動きにくくなる。→ピントが合わず、遠くが見えにくくなる。
 - ・近くでスマホを見続けると片目の視線が内側に向く“内斜視”になる可能性がある。→物が二重に見えたり立体的に物を見ることが難しくなったりする。
- ③“ブルーライト”について
 - ・太陽光に含まれ、体内時計を整える役割もある。体にとっては必要な光である。
 - ・夜にブルーライトを浴びると、睡眠ホルモンが出にくくなるため、眠れなくなったり、眠りが浅くなったりする。
- ④今ある健康な目を守るために…
 - ・「メディアを使うときは30分間に1回は休憩をとること」→毛様体筋を緩め斜視を防ぐためにも、メディアを30分間使用したら遠くを見るようにする。
 - ・「メディアを目から30cm以上離して使うこと」→近くでメディアを見続けることを避けること。
 - ・「メディアの使用時間を減らすこと」→メディアよりもっとすべきこと本を読む、勉強をする、自然と触れ合う、多くの体験をする、家族や友達との会話を楽しむ…。
 - ・目を大切にしたいメディアの使い方を!



8月 行事予定

1	木	安全点検	11	日		21	水	職員会議	
2	金	※復興計画策定意見交換会(18:00~体育館)	12	月	リフレッシュウィーク	22	木		
3	土		13	火		23	金		
4	日		14	水		24	土		
5	月	全校登校日	15	木		25	日		
6	火		16	金		26	月	校内研修会	
7	水	校内研修会	17	土		27	火		
8	木		18	日		28	水	全校登校日	
9	金	石川県中学生選抜新人卓球大会(白山市若宮公園体育館)	19	月		29	木	職員研修日(午後)	
10	土		20	火		全校登校日 住民の集い(ランチルーム・体育館)	30	金	
							31	土	